

中間貯蔵施設用地の状況

概要

- 中間貯蔵施設区域は約1,600haであり、予定地内の登記記録人数は2,360人となっています。
- 地権者との信頼関係はもとより、中間貯蔵施設事業への理解が何よりも重要であると考えており、引き続き、地権者への丁寧な説明を尽くしながら取り組みます。

中間貯蔵施設用地の状況について

2020年4月末時点

- 用地取得については、4月末時点で契約者数1,762人、面積約1,166haについて契約しております。

全体面積 約1,600ha	項目	全体面積に対する 面積と割合	全体登記記録人数 (2,360人※1)に対する 人数と割合
	地権者連絡先把握済み	約1,560ha※1 97.5%	約1,960人※1 83.1%
民有地 約1,270ha (約79%)	契約済 民有地 約1,122ha(+0.3ha) 88.4%※3	計 約1,166ha (+1.5ha) 72.9%	契約済 計 1,762人 (+3人) 74.7%※2
公有地 約330ha (約21%)	公有地 約43ha(+1.2ha) 13.2%※4	その他の公有地 約287ha 17.9%	<参考> 約1,452ha (90.8%) 〔連絡先把握済みの1,960人に対する割合は、89.9%〕

次を含む。

- ①道路・水路等のように今後も元々の機能を維持する町有地、県有地、国有地等
- ②事業の進展を踏まえつつ、必要に応じて、中間貯蔵施設用地としての提供・契約を調整する町有地、県有地、国有地等

- ※1 国、地方公共団体を含む。
- ※2 民有地1,760人、公有地2人。
- ※3 民有地(約1,270ha)に対する割合。
- ※4 公有地(約330ha)に対する割合。

(注)端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。また、契約済におけるカッコ内の数字は、前月末からの増加分を表す。

<参考>

地権者の状況について

2020年4月末時点

【地権者】

土地所有者・建物所有者

登記記録 2,360人 ※1

連絡先を把握している地権者 現在の把握数 約1,960人

- 連絡先を把握している地権者の所有地の面積の合計は、約1,560ha
(うち、公有地(国、県、町等の所有地、無地番地)等の面積は、約330ha)となっている。
全体面積(約1,600ha)に対して、97.5%となっている。

- ・建物等の物件調査について個別訪問し協力要請。※2
- ・調査の承諾を得た後に現地調査を実施。※3
- ・物件調査結果に基づく補償金額を算定。

- ・補償内容を丁寧に説明。
- ・補償額を提示。

契約実績

- 契約面積 約1,166ha ※4
- 契約件数 1,762件 ※5

連絡先を把握できない地権者
約400人

(内訳)

- ・死亡が確認できている方 約380人
- ・登記記録の所有者の記載が氏名のみや、登記名義人が戸籍に該当しない方 約20人

- 連絡先を把握できない地権者の所有地の面積は、約40ha 全体面積(約1,600ha)に対して、2.5%となっている。

戸籍、住民票情報等により、連絡先の調査・確認

- ※1 相続の発生等により、今後地権者数は増減あり。
- ※2 調査同意済:約1,920人。
- ※3 調査実施済:約1,840件。
- ※4 うち地上権設定:約187ha。
- ※5 うち地上権設定:151件。

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。